



身近な自然を 観察してみよう

市レッドデータブックに掲載されている動植物は、身近なところにも生息している。何気なく素通りしている景色の中にも、よく目をこらせば見つけることができるかもしれない。それが見られる機会も用意されているので、参加してみたいか。

幻想的な光をゆっくり観察しよう ～ホタル観察会を開催します～

専門家がホタルの生態や観察のポイントを解説。ホタルの一生について学んだ後、観察に出かけます。

- ▶とき 7月4日(火) 午後7時～
- ▶集合場所 二区町公民館
- ▶対象 小学生以上の市民(小学生は保護者同伴が必要)
- ▶定員 20人 ▶参加費 無料
- ▶申込開始日 6月12日(月)～
- ▶申し込み・問い合わせ 環境管理課 ☎0287(62)7193

※評価するだけの情報が不足している生物

情報不足*ヘイケボタル

体長7～10mmで、前胸部の中央に太い1本の黒帯があり、成虫は7～8月に水田や湿原などの止水域に出現する。幼虫は主に水生の貝類を食するが、ほかにもさまざまな水生生物を捕食する。



ゲンジボタル 情報不足

体長10～16mmで、前胸部の中央に十字の黒紋がある。光が強く、発光間隔が長いのが特徴。成虫は6～7月頃に水のきれいな小川の周辺に現れ、幼虫は流水中でカワニナ類を捕食する。

川に棲む生き物を探そう ～水の生き物調査隊～

鳥野目河川公園を流る川にはどんな生き物がいるのかな？
みんなで調べてみよう！

- ▶とき 7月8日(土) 午前9時30分～正午
- ▶集合場所 鳥野目河川公園(管理事務所前)
- ▶対象 市内の小学生(保護者同伴が必要)
- ▶定員 30人 ▶参加費 無料 ▶申込開始日 6月15日(木)～
- ▶持ち物 長靴、タオル、帽子、軍手、飲み物、アミ(持っている人のみ)
- ▶申し込み・問い合わせ 環境管理課 ☎0287(62)7193



ギョ 要注目

全長15～25cm。ナマズに似ているが、8本の口ひげ背びれの大きさで区別できる。市内では「ギンギョ」と呼ばれることが多い。

《三区町で見られる希少動植物》



準絶滅危惧 ミズマツバ

茎の基の部分は地を這うことが多く、分岐した茎は3～10cmになる。1年草のため、環境変化により大きな影響を受ける。

情報不足 ヤマトタマムシ

全体に緑色の金属光沢があることから、かつては装飾品や美術品の加工材料として用いられた。体長30～41mmで、6～9月に出現する。



身近な自然を見てみよう ～那須疏水&田園ウォーク in 三区町～

那須疏水と那須野が原開拓に関する施設、緑豊かな田園風景などを見ながら3km、4.5kmのコースを歩きます。

- ▶とき 7月1日(土) 午前8時30分～ ▶ところ 三区町公民館
- ▶参加費 無料 ▶定員 200人
- ▶内容 生息する生き物紹介、新鮮野菜・おにぎり・飲み物・お菓子(子ども)などをプレゼント、子ども疏水太鼓、スライガーショー、お楽しみ抽選会など
- ▶申込方法 氏名、住所、電話番号を添えて、電話、メール、ホームページで申し込み ▶申込期限 6月27日(火)
- ▶申し込み・問い合わせ 三区町環境保全隊事務局(鈴木) ☎080(5961)9684
✉sankucho@cube.ocn.ne.jp

いのち 消えゆく生命

那須塩原に生息する7,700種以上の野生動植物種。そのうち、絶滅のおそれがある希少野生動植物種は486種と全体の6%を占める。平成29年3月、それらの希少野生動植物種をランク付けし、生態や生息・生育を脅かす要因などを紹介する「那須塩原市レッドデータブック2017」が刊行された。



既に地域から姿を消した生物も

普段何気なく見かける植物や、子どもの頃に虫取り網を片手に追いかけた昆虫。身近にいて当たり前だったそれらの動植物が、今や絶滅のおそれがある種として掲載されている。ここ数十年で飛躍的に便利になった私たちの生活。その影に隠れて、ひっそりと危機に追いやられてきた生き物たち。いかに自然環境が変化してきたか、あらためて感じさせられる。

すでに那須塩原では絶滅した生き物たち



絶滅

ヒメシロチョウ

羽の表の白味が強く、飛翔しているときは黒斑をほとんど識別できないのが特徴。かつては市内の林道沿いの草地に生息していたが、草地の管理放棄と開発により生息地が激減した。

絶滅

ヒョウモンチョウ

従来からかなりの希少種であったが、近年の信頼できる調査によっても生息が確認できなかった。観光地の開発や草地環境の衰退が原因と考えられる。



この生き物も今では絶滅のおそれが

準絶滅危惧

タガメ

体長48～70mmで、日本の水生昆虫の中で最も大きい。除草剤などの農業に弱いといわれ、数が減少している。



那須塩原の希少種全てがこの1冊に



那須塩原市レッドデータブック2017

平成5年から調査を重ねてきた集大成。植物・哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類の7つの群に分類。全486種の野生動植物の希少性をランク付けし、その生態や生息・生育を脅かす要因などを種のカラー写真付きで詳しく解説している。他にも、保全が必要な地域などを紹介。

- ▶販売価格 2,000円
- ▶販売窓口・問い合わせ 環境管理課 ☎0287(62)7193

松村雄会長



市動植物調査研究会が大臣表彰を受賞発行の中心的役割を果たした「市動植物調査研究会」。動植物の専門家25人で構成し、平成5年から調査・保全に取り組んできた。その取り組みが高く評価され、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞した。